

7月16日(日) 第二礼拝 「王として来られるイエス様」 黙示録1章5-8節

聖書は、創世記から黙示録までイエスキリストの救いについて書かれています。イエス様は昨日も今日もいつまでも変わることがありません。アルファでありオメガである方、今いまし、昔いまし、後に来られる方です。昔、イエス様はアブラハムの子孫として来られ、私たちの罪を背負って十字架につけられ救いを完成されました。そして今、イエス様は私たちを神の国(王国)とし、私たちに聖霊を注いで、私たちを通して神の国を拡大しておられます。そして後に(将来)、イエス様は雲に乗って来られます(再臨)。

第一番目、ユダヤ人達の誤解です。ユダヤ人達は、“メシア”をダビデのような王として、また、戦争における英雄のような存在として考えていました。ユダヤ人の思い描くメシア像とイエス様の姿は違ったために、彼らはイエス様をメシアとして受け入れることができませんでした。今もユダヤ人はイザヤ書 53 章を禁じています。イエス様は、十字架を通して私達の罪を赦し、病を癒し、聖霊を注ぎ、永遠のいのちを与えてくださいました。それゆえ、神様はイエス様を全ての名の上に高く置かれ、全ての膝は彼の前にひざまずき、「イエスは主である」と告白するようにされました。ゼカリヤ 12:10 哀願の霊がユダヤ人に注がれ、彼らは自ら突き刺したイエス様を仰ぎ見る(信じる)ようになると約束されています。

第二番目、異邦人、教会の誤解です。これまで、イスラエルを教会と置き換える置換神学が教えられてきました。しかし、マルコ 15:2 イエス様はご自分をユダヤ人の王だと言われ、黙示録 5:5 イエス様はユダ族から獅子として、ダビデの根として誕生されました。イエス様はユダヤ人として生まれ、ユダヤ人の律法に従った生活をされ、定期的に会堂に行かれました。ヨハネ 4:22 救いはユダヤ人であるイエス様から起こりました。“救いの契約”は、神様がユダヤ人と結んだ契約であり、旧約時代はシナイ山での契約、新約時代は新しい契約をイスラエルの家とユダの家とに結びました(エレミヤ 31:31)。しかし、感謝なことに、その契約の中に、私たち異邦人を招待してくださり、恵みによって私たちは信じて救われたのです。

第三番目、イエス様は万物の支配者であり、ユダヤ人の王として再び来られます。ゼカリヤ 14:4.5 「主の足は…オリーブ山の上に立つ」イエス様はご自分の民の所に帰って来られます。そのため、ユダヤ人が自分の祖国イスラエルに戻るアリヤが現在起こっています。エゼキエル 39:28 「彼らを彼らの地に集め、そこにひとりも残しておかないようにする」アリヤは、イエス様が戻って来られることの特徴の一つなのです。二つ目の特徴は、救いの奥義です。ローマ 11:25-26 イスラエルの一部が頑なになったのは、異邦人の完成の時までです。異邦人が完成し、イスラエルは皆救われます。「救う者がシオンから出て、ヤコブから不敬虔を取り払う」のです。三つ目の特徴は、イエス様の再臨の時に、マタイ 23:39 ユダヤ人が「祝福あれ。主の御名によって来られる方に」と言います。私たちもまたイエス様が再臨されることを待ち望んでいます。その時、私たちの体は復活の体に変えられ、千年王国では王として仕える働きをすることになります。アーメン！ハレルヤ！